

平安時代 貿易管理制度史 の研究

渡邊
誠 著

思文閣出版

本書は刊行にあたり、独立行政法人日本学術振興会平成二十三年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けた。

平安時代貿易管理制度史の研究◆目次

序 論

一 研究の現状と本書の課題	3
二 本書の構成	9

第1章 承和・貞観期の貿易政策と大宰府

はじめに	16
一 新羅海商の活動と大宰府の貿易管理	18
二 藤原衛起請と承和九年官符	22
三 貞観海賊事件と大宰府	33
おわりに	37

第2章 文室宮田麻呂の「謀反」

はじめに	50
------	----

一 宮田麻呂の債権取立をめぐる国際情勢	53
二 対策会議における公卿の意見とその意味	58
三 宮田麻呂謀反事件の展開過程からみた事件の真相	61
おわりに——宮田麻呂の交易活動から入唐交易使へ——	67

第3章 藤原元利万侶と新羅の「通謀」

はじめに	75
一 大宰少式補任前後の政治情勢と元利万侶の立場	78
二 新羅通謀事件の真相	84
おわりに	92

第4章 律令国家の対外交易制度とその変容

はじめに	102
一 日本律令国家の対外交易制度	103
二 海商による対外交易と国家	110
おわりに	121

第5章 管理貿易下の取引形態と唐物使

はじめに	134
------	-----

一 貿易手続きの実例——十世紀末、曾令文の場合——	136
二 文書からみた貿易手続き	141
三 唐物使の役割とその変容	152
おわりに	157

第6章 平安期の貿易決済をめぐる陸奥と大宰府

はじめに	165
一 綿から金への貿易代価の転換	166
二 陸奥国の産金と「受領官」鎮守府將軍体制	172
三 十一世紀の貿易決済と大宰府	181
おわりに	190

第7章 年紀制と中国海商

はじめに	206
一 年紀の年数	207
二 年紀制下の海商の活動	223
おわりに	233

第8章 年紀制の消長と唐人来着定

はじめに……………

一 年紀制の運用と唐人来着定……………

二 年紀制の制定目的……………

三 年紀制の終焉……………

おわりに……………

第9章 十二世紀の日宋貿易と山門・八幡・院御廐

はじめに……………

一 延暦寺梶井門跡の動向……………

二 石清水八幡宮の動向……………

三 院御廐(後院)の動向……………

おわりに……………

第10章 大宰府の「唐坊」と地名の「トウボウ」

はじめに……………

一 「唐坊」の新史料……………

二 山口県の「トウボウ」地名……………

三 日宋貿易像と海商の来航地——服部英雄氏の所論にふれて——……………

終章 鴻臚館の盛衰

一 迎賓館としての客館……………

二 海商の来航と鴻臚館……………

三 鴻臚館から博多津唐房へ……………

初出一覧
索引

序論

一 研究の現状と本書の課題

平安時代の貿易像について、研究史上に燦然と輝く大きな成果として存在するのが、森克己『日宋貿易の研究』である。⁽¹⁾ 森克己氏の研究は、日本に残る編纂記録・日記・古文書などの各種文献から幅広く関連史料を搜索するのみならず、中国・朝鮮史料も正史などに限ることなく蒐集して、その豊富な史料の基盤のうえに立って体系的な貿易史像を描いてみせたという点で画期的なものであり、ながらく通説の地位を保ってきた。その後、新たな関連史料の増補はなくはないが、少なくとも文献の面に関して史料状況に劇的な変化を与えるほどのものはなく、現在においても、森氏の研究は史料の基盤を提供する貴重な成果としての意義を失っていない。また、議論の体系性に関しても、単に貿易関係の変化にとどまることなく、同時代の社会・経済・政治、および国際関係の諸側面にまで目配りして展開されており、「日宋貿易」にとどまらない平安・鎌倉期の対外関係の全体像を提示してみせた研究として、それまでの研究とは一線を画すものであった。⁽²⁾

森氏は、日宋貿易を論じるに当たって、その萌芽を末期日唐貿易に求めるとともに、海外から来日する外交使節（蕃客）の交易との比較から海商（商客）の地位を見定めて、「平安京貿易」から「大宰府貿易」への移行を説く。そして、律令制の弛緩・解体にともなって、貴族層の消極的思想との関係から鎖国的な政策がとられ、九世

紀末には遣唐使の派遣も停止され、さらに十世紀初頭になると外国商船の来航制限（年紀制の制定、貿易統制手続きの簡略化（唐物使の派遣停止と大宰府への事務移管、日本人の海外渡航禁止（渡海制）、といった一連の改革が行われたと論じる。また、朝鮮半島の国家に対しても、従来からこれを属国視する日本の因襲的な態度や海賊の跳梁によって関係が険悪化した結果、国交は途絶したとする。しかし、こうした対外方針は舶来品に対する熾烈な欲求とのあいだに矛盾を来たし、十一世紀には官吏の不正や管理制度の原則を外れた運用などの内的要因によって統制が弛緩したとされる。それに加えて、国家による貿易管理を忌避する宋海商が権門と結び付いて西海道沿岸に位置する莊園に直接船を着岸させて密貿易を行うようになった結果、貿易管理は崩壊するという。さらに、受動的貿易で満足しなくなった莊園領主や博多の商人たちは、みずから貿易船を建造して海外に進出し、十一世紀後半には造船・航海技術の未熟からまず高麗へと進出し、十一世紀末から十二世紀前半に高麗国内の政治・治安が動揺すると、その危険を避けて日本商船は直接宋へ渡航するようになり、高麗へはその動揺に乗じた倭寇が略奪に向かうようになったと論じている。

日本古代国家の展開における朝鮮半島を軸とした国際的契機を強調して、その後の研究に大きな影響を与えた石母田正氏の「東夷の小帝国」論においても、平安期以後については、大陸に対する朝貢国・被朝貢国としての日本＝東夷の小帝国としての日本が消滅するという国際的・国内的な政治情勢の転換にともなう政治意識の変化によって、国際意識は急速におとろえ、閉鎖的な精神が支配的になり、大国意識・差別意識だけが伝統的な意識として固定されたと説明されている。⁽³⁾

石母田氏が平安貴族の国際意識を「閉鎖的」としたことは、森克己氏の研究に通底するものであり、これらの研究の影響のもとで、現在でも、平安期の貴族層における対外意識を排外的・差別的なものと規定し、またそうした意識の所産として当該期の対外事象を分析しようとする姿勢は一般的なものである。⁽⁴⁾

平安時代の日本が閉鎖的な対外意識のもとで孤立した時代であったという認識は、この時代の対外関係への関心を希薄にし、森克己氏の研究に対しても、それが上述のように豊富な史料の基盤に裏打ちされた体系性に富むものだったこととあいまって、ほとんど再検討の機会が与えられることがなかった。森氏の提示した図式は通説として受け入れられ、日本史の概説書などでもそのまま踏襲されるのが通例であった。

一方、一九八〇年代以降には、一国史観への批判や地域史研究の深まりのなかから、国境の枠組みを相対化して、海によって結びつく諸地域を「海域」として把握しようとする「海域史」の視点が提示され、それぞれの時代で、この分野の研究が活況をみせるようになっていく。⁽⁵⁾ こうした動向を背景としながら、平安時代の対外関係史の分野も新しい研究が生み出されるようになった。⁽⁶⁾

対外関係史全般に対する関心の高まりのなかで日宋貿易にも注目が集まり、一九九〇年代以降、様々な観点から森説に対する見直しが進められている。十世紀初頭の対外方針に対しては、「消極的」というよりもむしろ、経済的「開放」と積極的管理・統制と位置づけられるようになり、⁽⁷⁾ また、国家が派遣する使節の途絶という外交関係の矮小化のなかにあつて、海商を「朝貢分子」に位置づけて徹底的に管理することで王権の対外交権を堅持しようとする対外関係の再編であると評価されるようになった。⁽⁸⁾ そして、その貿易管理制度は変質しつつも十二世紀前半にいたるまで存続し続ける一方、森克己氏が述べるような莊園内密貿易を証明できる事実は史料的に確認できないことが指摘された。⁽⁹⁾

渡海制の理解についても疑義が出され、その法源は律令にあり、十世紀初頭に新たに制定された制度ではないという見方が主流になっている。⁽¹⁰⁾ 唐物使の派遣状況についても、十世紀代はおおむね派遣され続けており、十世紀初頭の改革による派遣停止という理解は、現在では認められていない。⁽¹¹⁾ 日本商船の海外への雄飛・活躍を強調した森克己氏の議論には、近代国民国家の国際意識の影響がみてとれるが、日本商船の中国への渡航とされた事

例は実は中国系海商の貿易活動であることが明らかにされ、また中国渡航の一因とされた高麗の治安の乱れも検証⁽¹²⁾したいことが論じられている⁽¹³⁾。

史料解釈・史料操作および論理展開の妥当性に対する批判が様々な点で提起されはじめているのであり、森氏が提示した豊富な史料に基づきつつも、個々の史料から抽出される情報を精査し、より正確で緻密な貿易史像を再構成することが求められていると言えるだろう。

また、この時代の日本をとりまく国際関係の理解に大きな影響を与えてきた西嶋定生氏の東アジア世界論では、前近代の中国とその周辺諸国に「東アジア世界」が指定され、十世紀以後、中国を中心とした国際的政治関係としての「古代東アジア世界」に替わって、経済的・文化的な「東アジア交易圏」が出現し、やはり中国王朝を中心として拡大をみせつつ、前近代を通じて自己完結的諸世界の一つとして存在し続けたとされる。そして、この経済的交易圏は明の冊封・勘合貿易体制による秩序化まで、それを安定化させる機構の欠落した私貿易の形態をとっていたという⁽¹⁴⁾。

このように「政治から経済へ」という図式で十世紀以後の国際関係の基底的要素を経済的交易関係に求めた西嶋氏の東アジア世界論に対しても、特に、十世紀以降の貿易関係を秩序機構の欠落した私貿易ととらえたことに對して、山内晋次氏が重要な批判を行っている⁽¹⁵⁾。山内氏は、当該期の東アジアにおいては、王権と対外海上交易との間に極めて密接な関係があることを指摘し、中国および周辺諸国による独自の華夷秩序とそれに基づいた貿易管理体制が東南アジア海域まで連続し、海商はその秩序に参入することで「私貿易」にある程度の秩序と安全性が保証されたのではないかと、仮説を提示した。この議論を受けて榎本涉氏も、海商にとって不利なものと評価されやすい管理貿易も、官民の購買力が集中する巨大な市場として、やはり魅力があったと論じている⁽¹⁶⁾。こうした管理貿易に対する評価の背景には、ポランニーの交易港論や、東南アジアの港市国家論の影響があり、政治

権力(国家)と港湾・交易の関係が、重要な論点として浮かび上がっている。

考古学の立場からも、鴻臚館跡や、「白磁の洪水」と呼ばれた博多遺跡群の大量の輸入陶磁器の出土などを通じて、様々な論点が提起されるようになった。亀井明德氏は、鴻臚館遺跡と博多遺跡群の対比から、鴻臚館に海商が唐物を持ち込み交易する「波打ち際貿易」から、博多に海商が長期居留することで、より日本国内の需要に対応した貿易を可能とした「住蕃貿易」へと、十一世紀中頃を境に継起的に移行することを指摘した⁽¹⁷⁾。また、東シナ海をめぐる貿易のモデルとして、中国と輸入国が各々直線的に結ばれる一極ラジアル(放射線)型から、生産地・輸出港の多極化、中継貿易国の出現により複数の生産国と受容国を複線で結び、さらに受容国相互と中継国を結びつける多極クロス(交差線)型への移行を論じ、その推移を十三世紀に始まり、十四世紀には支配的となるとまとめている⁽¹⁸⁾。

また大庭康時氏は、博多遺跡群の発掘成果から、住蕃貿易の証拠となる考古学的指標を、①貿易陶磁器の高い比率、②「綱」銘墨書陶磁器の大量出土、③貿易陶磁器の一括廃棄遺構の存在、④貿易船のコンテナとしてもたらされた大型容器(陶器の壺・甕類)の出土、の四点に整理し、この指標のうち特に②③を重視して、少なくとも住蕃貿易の段階(十三世紀前半頃)においては、対外交易の本拠地は「博多」にあり、九州西海岸には小規模な交易拠点が点在していた、としている。加えて、「集散地遺跡」という概念を提起し、物資・人間が交易のために集散することを本質的な姿とする都市遺跡と規定して、博多遺跡群をこれに位置づけた⁽¹⁹⁾。こうした物流の核・結節点となる場(港湾)を重視する視点は、先の山内・榎本両氏の理解とも共鳴し、政治権力と港湾、ひいては物流の構造の相互関係を考えるうえで重要である。

一方で、薩摩半島南西部の万之瀬川河口部から多くの貿易陶磁器を出土させた持鉢松遺跡や、「トウボウ」(唐坊)地名の広範な分布から、貿易拠点の多様性が指摘され、あたかも博多を重視する視点と対立するかのよう

- 第1章 「承和・貞観期の貿易政策と大宰府」〔『ヒストリア』一八四、二〇〇三年〕
- 第2章 「文室宮田麻呂の『謀反』」〔『日本歴史』六八七、二〇〇五年〕
- 第3章 「藤原元利万侶と新羅の『通謀』」〔『史学研究』二五八、二〇〇七年〕
- 第4章 「日本古代の対外交易および渡海制について」はじめに・第一章〔『東アジア世界史研究センター年報』三、二〇〇九年〕
- 第5章 「平安中期、公貿易下の取引形態と唐物使」〔『史学研究』二三七、二〇〇二年〕
- 第6章 「平安期の貿易決済をめぐる陸奥と大宰府」〔『九州史学』一四〇、二〇〇五年〕
- 第7章 「年紀制と中国海商——平安時代貿易管理制度再考——」〔『歴史学研究』八五六、二〇〇九年〕
- 第8章 「年紀制の消長と唐人来着定——平安時代貿易管理制度再考——」〔『ヒストリア』二二七、二〇〇九年〕
- ※第7章・第8章は、「平安中期貿易管理の基本構造」〔『日本史研究』四八九、二〇〇三年〕の抜本的再考である。
- 第9章 「十二世紀の日宋貿易と山門・八幡・院御廐」〔入間田宣夫編『兵たちの時代Ⅱ 兵たちの生活文化』高志書院、二〇一〇年〕
- 第10章 「大宰府の『唐坊』と地名の『トウボウ』」〔『史学研究』二五一、二〇〇六年〕
- 終章 「鴻臚館の盛衰」〔荒野泰典・石井正敏・村井章介編『日本の対外関係3 通交・通商圏の拡大』吉川弘文館、二〇一〇年〕

劉琨(隆琨)	146, 147, 191, 220, 221, 225, 226, 232, 233, 239, 244
劉仕猷	27
劉二郎	126
劉慎言	30, 168
柳念	268
劉文冲	230, 243
呂系→於呂系	
林庭幹	209, 250
林養	210, 268

李彦環	348
李師道	21, 350, 351
李充	237, 258, 262, 263
李純達	122
李昌珍	55, 58
李少貞	22, 26, 45, 57~60, 167
李侁	229, 359
李信恵→信恵	
李忠	55~60, 64
李同捷	21, 22, 351
李德昭	227, 232, 313, 327

【外国人】

い・え

伊湊大昕 66, 73
 閻丈(閻長) 17, 22, 24~26, 31, 32, 42,
 45, 57~60, 71

お

王昇 233, 243, 286, 315, 316, 361
 王請 20, 26, 167, 227
 黄政 219, 239
 王宗 218
 王端 219, 244, 268
 王超 27
 黄逢 219
 王滿 316
 於呂系(呂系) 45, 57, 59

か

郭務棕 345
 膳堂慧遠 292, 307
 咸吉競 122

き

義空 114, 118, 131, 354
 龔三郎 277, 312, 361
 兎世昌 212, 229, 358, 359
 金正南 27, 227
 金珍 26, 111, 115
 金文習 116, 131
 金祐徵(神武王) 54~56, 66
 金陽 24, 42, 54~57, 71
 欽良暉 26, 27

け

景文王 84
 言升則 350

こ

康志陸 21, 41

孝宗 292
 江長 26
 高奉 347
 吳越国王 230, 270
 吳里卿 227, 327

さ

齊隱 237
 崔暈 45
 崔鐸 119, 171, 172, 195

し

謝国明 286
 秀安 289, 290, 327, 329
 周光翰 350
 周新 260, 289, 315, 316, 330, 338, 339
 周世昌→兎世昌
 周汾 118
 周文裔 153, 178, 187, 203, 207, 214, 215,
 221, 225, 226, 238, 240, 241, 244, 253,
 254, 258, 260, 270, 357, 361, 363, 369
 周文德 238, 369
 周良史 153, 156, 178, 188, 191, 203, 207,
 216, 217, 223, 225, 226, 230, 234, 236,
 241, 243, 244, 325, 341, 361, 363
 朱仁聰 149, 185, 202, 209, 210, 212, 213,
 236, 237, 250, 268, 357

守道利 297
 順昌 30
 俊政 210, 268
 潤清 36
 庄永 284
 上官用鉅 214, 224, 239, 250
 蔣袞 247, 323, 326
 莊巖 237, 258
 蔣承勳 120, 356
 章承輔 226, 244, 361
 章仁昶 223, 224, 226, 244, 254, 341, 361
 徐公直 118
 徐公祐 114, 115, 118, 130, 354
 信惠(李信惠) 20, 168, 227
 沈道古 19, 39, 115, 130

神武王→金祐徵

せ

施十郎 227
 薛萃 21
 詹景全 27, 115, 130

そ

蘇景 284, 332
 曾聚 181, 232
 蘇船頭 331~333
 蘇張六 332
 曾令文 113, 136, 137, 139~141, 146~
 149, 152, 153, 156, 160, 177, 178, 207,
 213, 214, 224~226, 238, 239, 250,
 253, 261
 孫忠 179, 191, 217~219, 224, 244, 335, 336

ち

張英 286
 張詠 20, 21, 168
 張覺濟 20, 26, 167
 張建忠 227, 348
 張興 286, 327
 張光安 286, 289, 290, 315, 327, 328
 張公請 30
 張三郎 232
 張守隆 253
 張文遇 323
 張宝高(張保臯) 9, 10, 17~27, 31, 32,
 37, 39, 42, 44~46, 50~59, 61, 64, 66
 ~68, 78, 92, 114, 119, 120, 167, 168,
 170, 258, 351
 張友信 116, 117, 131, 169, 227, 348, 354
 陳詠(悟本) 179, 181, 217, 218, 223, 225, 226, 244
 陳苛 229, 358
 陳泰信 114, 116, 117, 354
 珍寶長 34, 79
 陳文祐 223, 244, 254, 262

て・と

丁載 268
 鄭十四 228, 313
 道玄 36, 227

に

任仲元 34, 46, 47, 116, 131

は

裴頠 105
 莫晏誠(慕晏誠) 144, 145, 161, 162, 210, 237, 239
 潘懷清 218, 240, 253

ひ・ふ

閔哀王 54, 66
 文聖王 54

ほ

慕晏誠→莫晏誠
 法惠 117, 354
 鮑置求 222
 朴正長 227

み

妙智禪師(從廓) 291
 妙典 288

ゆ・よ

俞仁秀 323
 楊榮 341
 楊円 55, 57, 58
 楊客 232
 用鉅→上官用鉅

り

李宇 227, 285, 303, 327, 337
 李榮 303
 李英覺 27, 44
 李延孝 27, 44, 46, 240, 345
 李居簡 347

平貞能 288, 289, 292
 平重盛 288, 289, 291, 292
 平季基 188, 189, 203, 357
 平孝義 175~177
 平忠盛 260, 262, 265, 289, 315, 330, 364
 平親信 189, 269
 平永盛 176
 平生昌 184, 202, 252
 平盛子 287, 293
 平頼盛 287, 288, 305, 308
 高岳親王真如 46, 116, 345, 348
 高丘真今 116
 建部福成 116, 131
 多治安江 68, 119
 橘則光 175, 177
 橘道貞 175, 178

ち

仲回 191
 重源 264, 285, 292, 303
 裔然 264

つ

調為善 136~139, 156, 213
 恒貞親王 64, 70

と

道清 287
 唐坊氏 318
 当麻有業 130
 鳥羽院 265
 伴善男 76~78, 80~82, 84, 90, 92, 93, 99

な

中井王 72, 73, 89, 99
 長屋王 105

に

仁覚 278, 280
 仁好 30
 任清 287
 仁誉(仁與) 280

は

丈部大麻呂 172
 秦倫頼 185, 186, 212, 357

ふ

藤原明範 339, 357, 369
 藤原明衡 275
 藤原顕光 250, 252, 254
 藤原敦輔 220
 藤原有蔭 98, 348
 藤原有国 113, 136, 139, 149, 186, 189, 210, 212, 213, 357
 藤原氏宗 81, 82
 藤原緒嗣 257
 藤原兼貞 176
 藤原懷平 250
 藤原清衡 200, 280, 281, 283, 307
 藤原惟憲 156, 188, 189, 191, 217, 230, 234, 236, 325
 藤原伊房 191, 220, 221
 藤原貞敏 126
 藤原貞仲 175, 176
 藤原実方 175, 178, 199
 藤原実資 72, 187~189, 203, 215, 216, 241, 252, 254, 258, 357
 藤原実成 144, 145, 161, 162
 藤原実頼 270, 271
 藤原滋望 198
 藤原順子 76, 77, 84, 98
 藤原季仲 279
 藤原隆家 193
 藤原岳守 39, 115
 藤原忠実 133, 291, 306, 330, 331, 359
 藤原忠平 208, 222, 248, 254, 267~269
 藤原為時 212, 229, 230, 242, 358, 359
 藤原為長 175
 藤原為房 229, 230, 358
 藤原恒佐 65, 120, 193, 356
 藤原経平 179, 191, 218, 234
 藤原常行 78, 81
 藤原定子 149, 186, 202, 210, 212, 357

藤原倫寧 174, 198
 藤原仲直 48
 藤原仲平 270
 藤原仲麻呂 94, 105
 藤原後蔭 130
 藤原信経 136, 137, 139, 153, 213
 藤原信頼 289, 291
 藤原秀衡 281, 291, 292, 307
 藤原房雄 48
 藤原冬緒 34, 35, 86, 87
 藤原藏規 214, 357, 369
 藤原衡 22~26, 31, 32, 42, 61, 64, 71, 73
 藤原道長 136~140, 164, 176, 184, 214, 250, 252~255, 265, 270
 藤原基経 81, 82, 92, 93, 96
 藤原基衡 281, 291, 307
 藤原元利万侶 10, 32, 37, 75~80, 82, 84~93, 97~99
 藤原師輔 270, 271
 藤原諸任 175
 藤原泰衡 281
 藤原山蔭 65, 68, 120, 169
 藤原行成 138, 139, 184, 213
 藤原良孝 188, 189
 藤原良房 76, 80~82, 84, 92, 93
 藤原良相 76~78, 80~82, 84, 92, 93, 96, 97
 藤原頼長 230, 291
 藤原頼通 144, 187, 230, 243, 253~255
 文室秋津 50~53, 64
 文室名継 69, 70
 文室宮田麻呂 10, 42, 50~53, 56~70, 72, 73, 119, 170

へ・ほ

戸浄山 172, 196
 法薬禅師 278

ま

松浦連 331, 332
 丸子宮麻呂 172

み

道嶋嶋足 197
 源有房 292, 308
 源有宗 180, 200, 280
 源興国 120
 源国俊 180
 源勤 80, 81
 源経信 38, 137, 229, 242, 313, 359
 源融 80, 96
 源信 80, 81, 96
 源満正 175, 177, 178
 源基綱 229, 242, 359
 源師行 292, 308
 源義家 180
 源頼朝 281, 329
 明雲 292
 三善清行 89

む

宗像妙忠 187, 258
 紫式部 242, 358

め・も

明範(応範) 191, 220, 221
 茂世王 34, 87, 97

よ

余足人 172, 196

ら・り

頼清 277, 278, 285, 286, 288
 良祐(色定法師) 303, 330

留住 65, 72, 73
 竜腦 232, 252
 流来→漂着
 遼(契丹) 191, 220, 221
 靈隠寺 292

る・ろ

瑠璃 281
 緑青 187
 鷗鷺鳥 36, 48

わ

若狭 185, 209, 210, 250, 294, 349
 鷺羽 288
 和市(物) 112, 113, 119, 130, 132, 136,
 141, 144, 145, 149, 152, 154, 160~
 162, 227, 242, 260~263, 273, 316,
 324, 326, 355, 356
 綿 103, 105, 107, 111, 116, 117, 126, 166
 ~171, 186, 190, 194~196, 348, 355

【日本人】

あ

阿多忠景 308
 阿多宣澄 308
 敦良親王(後朱雀天皇)
 146, 148, 153, 216, 363
 阿比留氏 318, 334
 安倍氏 174, 176, 181, 192
 阿倍継麻呂 345
 天野遠景 297

い

一条天皇 252, 269, 270
 院範 277, 300

う

宇佐公通 287
 ト部乙屎麻呂 36

え

栄西 232, 264, 284, 285, 288, 292, 303,
 305, 308, 313, 330, 361
 恵萼 168
 円行 109
 円載 30, 170
 円珍 27, 36, 43, 45, 76, 114, 115, 169, 346,
 348, 354
 円仁(慈覚大師)
 26, 27, 42, 54, 109, 111, 168, 280

お

奥州藤原氏 181, 280~282, 288, 291, 307
 応範→明範
 大神御井(巳井) 68, 73, 74, 119, 120, 169
 凡海龜鑑 172
 大隅掾為頼 187
 大鳥智丸 116, 131
 大中臣清麻呂 105, 170
 大中臣延忠 185, 186, 212, 357

越智貞原(貞厚) 27, 34, 46, 89~91, 99
 小野末嗣 42
 小野篁 42

か

戒覚 220, 264
 快宗 264
 覚阿 292, 307
 覚樹 284, 285
 覚法親王 15, 330
 香椎宮司武行 187, 258
 春日宅成 68, 73, 114~117, 119, 354
 金売り吉次 288
 香山弘貞 348
 寛助 286

き

紀三津 44, 45
 行遍 290, 315, 327, 328
 清原氏 174, 181

く

空海 90, 99, 108
 日下部深淵 172
 百済王敬福 172
 栗太光忠 185, 186, 212, 357

け

慶清 287
 慶朝 278
 源信(僧) 237

こ

後一条天皇 254
 光清 278, 279, 284, 286, 287
 腰引禪師→暹宴
 後白河法皇 287, 291, 292, 307
 後朱雀天皇→敦良親王
 巨勢友高 227
 巨勢文任 187, 258
 伊治公弼麻呂 197

さ

西園寺公経 289
 最澄 109
 佐伯全成 172
 佐伯真継 75, 76, 90, 91
 栄井王(酒井宮、須井宮) 20, 41, 42
 嵯峨源氏 80, 92, 93
 坂上瀧守 35, 48, 80, 86~88, 97, 98
 三条天皇 253

し

慈覚大師→円仁
 色定法師→良祐
 慈濟 284, 285
 寂照 264
 宗叡 46
 朱牟須壳 172
 俊寛 298
 定俊 278
 成尋 179, 191, 217, 220, 223, 226, 264, 284
 少弐経資 133, 331
 白河法皇 278, 286, 299
 真如→高丘親王真如

す・せ・そ

朱雀天皇 208, 248
 性海 73, 74
 盛算 203, 216, 241
 清成 287
 暹宴 285, 286, 304
 宗清 286

た

醍醐天皇 248
 平家貞 289, 308
 平清盛 289, 291, 292, 307, 308
 平惟仲 184, 189, 252
 平維良(平維茂) 175, 176
 平定親
 133, 148, 153, 163, 178, 216, 217, 363
 平貞盛 175, 198, 199

に
入唐交易使 10, 65, 67, 68, 73, 74, 116,
119, 120, 122, 169
日本国使 84
日本人妻 226, 233, 316, 331, 361
ぬ
縫殿寮 104
布 170, 173, 174, 181, 184, 232
奴婢 20, 21, 351
ね
年期 108, 209, 246, 257, 258, 271
年紀 4, 11, 12, 112, 153, 161, 206~210,
213~218, 220~225, 230~237, 239,
245~250, 252~261, 264~266, 269,
271, 326, 331, 353, 354, 362, 363
の
納妃 42, 55, 56
能登客院 349
は
排外意識 10, 17~19, 22, 23, 33, 35, 38, 48, 76
買新羅物解 65, 104, 125, 169, 357
博多(博多津) 7, 12, 30, 32, 35, 86, 118,
124, 134, 135, 157, 164, 186~188,
203, 204, 225, 232~234, 247, 259,
276, 277, 281, 282, 284~286, 288,
290, 292~295, 297~299, 306, 307,
312, 313, 316, 317, 322~325, 327,
328, 330~333, 335, 337~339, 345,
346, 348, 360, 361, 364, 365
博多遺跡群 7, 134, 231, 276, 294, 295,
301, 312, 313, 316, 332, 341, 347, 360,
361, 365
博多綱首(船頭) 9, 231, 276, 282, 286,
290, 294, 313, 327, 330, 361, 364
白山社 282
白村江の戦い 345

宮崎宮 287, 293, 327~329, 284, 286,
288, 290, 315
宮崎・博多の大追捕 286, 287, 315, 316, 361
八幡神人 287, 290, 298, 315, 327, 337, 276
蕃客儲米 348
蕃客所 348
藩邸の旧臣 66, 67
ひ
日吉神人 276, 279, 280, 282, 291, 364
東アジア世界論 6
羊 209
檜 289, 292
備辺式 325, 336
白檀 120, 252
漂着(漂流、流来) 22, 24, 26, 36, 40, 49,
71, 85, 97, 110, 161, 181, 185, 209, 210,
212, 213, 227, 229, 237, 239, 249, 250,
267, 268, 297
平泉 280~282, 291, 302
平泉遺跡群 281
平戸 331~333
檳榔 189, 293, 298
琵琶 126
賓客→東宮学士
賓礼 18, 111, 122, 206, 235, 344, 358, 366
檳榔子 187
ふ
福岡城跡 345
福島城 199
福原山荘 292, 307
福良津(福浦港) 350
富豪層 10, 16, 22, 47, 79, 88~91, 121,
122, 195
俘囚 35, 86, 173, 174, 193, 197, 275, 336
府例沽価法 179, 180, 190, 191
へ
平安京貿易 3, 123

別貢物 105, 106, 108
返金官符 123, 146~149, 152, 154~157,
162, 177~180, 190, 283, 356, 364
返金使 123, 135, 137, 138, 140, 146, 148,
152, 154, 156, 157, 163, 177, 178, 200,
356, 364, 369
返合 148, 163, 182, 183, 201
返抄 152, 171, 175, 177, 183, 185, 212, 357
返牒 218, 225, 270
ほ
保 200, 280
貿易管理体制 6, 9, 23, 124, 134, 158
貿易陶磁器(輸入陶磁器) 7, 189, 231,
281, 282, 295, 297, 298, 312, 317, 318,
341, 360, 361, 365
報恩寺 303
保元の乱 288, 291
俸料官符 184
墨書陶磁器 7, 231, 281, 288, 301, 302,
341, 360, 361
北陸 294, 331, 333, 341, 365
渤海 206
渤海使 18, 21, 41, 67, 105~108, 110,
111, 117, 125, 126, 169, 246, 257, 336,
344, 349~351, 355, 358
渤海首領 106~108, 112
法螺 181
ま
松原客館 349, 358
み
水城 347
水沼窯 282
密貿易→荘園内密貿易
名簿 230, 242, 359
む
陸奥 36, 37, 86, 117, 130, 140, 154, 157,
165, 172~174, 177, 179, 181, 190,

191, 193, 197~200, 231, 280, 288,
289, 291, 306, 355, 356, 363, 364
陸奥国小田郡 172, 173, 198
陸奥国気仙郡 198, 288, 291
陸奥国白河郡(白河領) 198, 291
宗像社 36, 285, 303, 315, 318, 330
ムロツミ 344
め
明州(慶元・寧波) 116, 181, 207, 218,
276, 281, 283, 285, 288, 291, 295, 303,
332
明州牒→牒状
名籍 230, 242, 243
免田 286, 294, 328
も
木材 181, 284, 285, 289, 292, 303
持株松遺跡 7, 295, 297, 298
や
訳語→通事
夜光貝(夜久貝) 189, 283, 293, 298, 357
柳之御所跡 281
ゆ
雄黄 124, 187
輸入陶磁器→貿易陶磁器
よ
窯道具 231, 361
寄船 297
寄人 276, 290, 293, 294, 310, 315, 327, 337
ら
螺鈿 189
螺頭 204, 283, 357
螺杯 204
り
琉球 295

5, 260, 275, 276, 326, 336~338
 貞観新羅海賊事件 17, 31~35, 37, 42,
 48, 76, 80, 86~88, 97, 352
 商客請文 140, 148, 149, 212, 214, 356
 成功 180, 264
 昌国(舟山群島) 295
 勝載 323, 324, 339
 承天寺 286
 莊領 260, 327, 330
 承和の変 50, 51, 66, 67, 69, 70
 初期貿易陶磁 360
 書籍(漢籍) 228, 230, 243
 蜀江綿 281
 白井川遺跡 298, 301
 新羅国執事省牒 44, 45, 85, 97
 新羅国牒 75, 85, 90, 91
 新羅使 65, 104, 108, 110, 169, 336, 344,
 345, 351, 357
 新羅通謀事件 18, 32~36, 38, 46, 77, 80,
 84~86, 88~92, 94
 新羅坊 17, 22, 27, 32, 167, 227
 新羅訳語 27, 30, 36
 志羅山遺跡 281
 資糧 227~230, 358
 城山四王院 34, 348
 新安沈船 286
 神功皇后陵 56
 沈香(沈) 232, 252, 281
 神国 101
 真珠 84, 181, 204, 280, 282, 283, 364
 陣定 11, 141, 146, 161, 209, 215, 220, 222,
 245, 246, 249, 250, 252~254, 258, 267
 ~270, 326, 353
 信物 105, 106, 108, 109, 113, 118, 126,
 167, 191
 進奉使 188, 191, 217, 226, 230, 234, 357

す

水牛の角 281
 水銀 181, 204, 280, 282~284, 364
 出納 72, 112, 113, 116, 120, 122, 130, 135
 ~140, 149, 154, 155, 157, 177, 178,

213, 216, 249, 283, 356
 周防 292
 蘇芳(蘇木) 109, 125, 130, 187, 232
 珠洲焼 282
 住吉神社 34
 「受領官」鎮守府將軍体制 117, 166, 174,
 176, 180, 190, 192, 198, 355

せ

清海鎮 17, 21~23, 25, 26, 31, 32, 37, 38,
 44~46, 54, 55, 66, 73, 167, 351
 清涼寺 203, 216
 生料米 107, 111, 112, 115, 228, 242, 272
 赤山法花院 21
 摂関(家) 253, 254, 268, 270, 282, 287,
 288, 291, 293, 306, 308, 337
 節度使 16, 21, 22, 32, 350, 351
 銭 103, 105, 106, 169, 170
 前九年合戦 176, 198
 千僧供養 200, 280, 283, 302, 307

そ

惣管 351
 象牙 281
 宋人御皆免田 286, 328
 宋版一切経 13, 281~283, 285, 307
 外が浜 282
 存問 123, 161, 209, 223, 248, 254, 255,
 260, 262, 271, 316, 322, 323, 325, 335,
 336
 存問記 219, 245, 248, 324, 331
 存問使 328, 336, 355

た

醍醐寺 285
 大山寺 263, 277~280, 285, 287, 288,
 290, 299, 312, 315, 327, 337, 361, 364
 大山寺別当 277~279, 284, 286, 300
 大山(寺)寄人 290, 315, 327, 337
 大山船 263, 277, 312
 対中遺跡 302
 内裏焼亡 252, 253, 255, 265, 353

高田牧 187, 258
 内匠寮 104
 大宰府請文 137, 140, 148, 149, 152, 182, 214, 356
 大宰府守護所 124
 大宰府貿易(交易) 3, 123, 124
 但馬 18, 106, 108
 多度神宮寺 280
 丹後 294, 365

ち

筑後川 79, 290
 茶垵 130, 187
 中尊寺 280~283, 307
 長案 267
 張光安殺害事件 286, 322, 327, 330
 朝貢分子 5, 40, 352
 丁字 130, 252
 牒状(明州牒) 122, 217~219, 225, 239,
 267, 271, 291, 292, 323~325, 336
 調邸 64
 長保事件 189, 204

つ

通事(訳語・通訳) 85, 106, 107, 112,
 116, 117, 126, 168, 179, 217, 223, 226,
 227, 232, 286, 313, 327, 348, 351, 354
 筑紫大宰 345
 筑紫館 129, 343~346, 365
 対馬 32, 33, 36, 43, 55, 66, 76, 79, 85, 89,
 90, 186, 189, 203, 204, 318
 津厨 347
 敦賀(敦賀津) 210, 229, 294, 349, 358, 364, 365

て

通送官符 146, 147, 162, 356, 369
 狄坂丸の乱 198, 199
 出羽元慶の乱 48, 174, 193
 天台山 283, 302, 307
 天童山千仏閣 285, 303
 典藥寮 104, 124

と

東夷の小帝国論 4
 東宮学士(賓客) 153, 216, 363
 東国国家論 309
 唐使 170, 194, 345
 陶磁器 275
 唐人売買物請文 144, 145, 148, 152, 356
 答信物 191
 トウジンボウ(地名) 342
 唐人来着定 11, 246, 247, 249, 250, 252~
 255, 260, 262, 268~270, 353
 唐船点定銭 133, 331, 339, 340
 東大寺 172, 283~286, 288
 東丹国 111, 127
 東福寺 286
 唐房(唐坊) 123, 124, 134, 135, 163, 225,
 227, 231~234, 243, 277, 286, 312~
 318, 322, 325, 332, 333, 335, 361, 363
 トウボウ(地名) 7, 294, 297, 317, 318,
 320~322, 325, 330, 332, 333
 唐坊八幡宮 318
 大唐米 322
 渡海制 4, 5
 常滑焼 282
 土生唐人 226, 230, 332, 361
 鳥羽殿 289, 291, 364
 貪羅嶋 85

な

内侍 68, 109, 110
 内豎 61~64, 72
 内薬司 104, 124, 125
 長原遺跡 281
 仲間関係 223, 224, 234, 363
 納所 156, 157, 164, 186, 202
 難波 62~64, 344
 難波館 343, 344, 365, 366
 那大津 345
 波打ち際貿易 7, 134
 南延→銀
 南島産品 189, 203, 293

共同港湾 276, 299
 交名 219, 224, 248, 294, 324
 喜連東遺跡 281
 金(砂金) 11, 65, 84, 116, 117, 120, 123,
 126, 130, 135, 137, 139, 140, 147, 149,
 152, 154, 155, 157, 163, 165, 166, 168
 ~175, 177, 179~181, 184, 190, 191,
 195~200, 210, 213~215, 220, 231,
 252, 269, 272, 281~284, 288, 289,
 355, 356, 363, 364
 銀(南廷) 169, 170, 189, 191, 204, 220,
 252, 281, 355
 覬覬 229, 230, 358, 359
 金舗 169

く

公卿議定(公卿議) 25, 57~59, 270
 孔雀 15, 133, 214, 306, 330, 331, 357, 359
 城久遺跡群 189, 204, 283, 302, 357
 楠葉型瓦器 298
 百済 102, 172, 345
 熊野神人 282
 倉木崎海底遺跡 295, 297
 倉敷地 338, 339
 蔵部 72, 103, 104, 355
 内蔵寮 63~65, 68, 72, 78, 81, 82, 103~
 106, 108~110, 116, 120, 121, 124,
 125, 169, 352, 354~356
 内蔵寮別当 78, 82
 蔵人 63, 64, 68, 72, 112, 113, 116, 130,
 135, 137~139, 147~149, 152, 153,
 163, 216, 249, 356
 蔵人所 11, 61~65, 68, 105, 109, 116,
 117, 119, 120, 122, 123, 125, 130, 135,
 140, 149, 153~157, 167, 175, 177,
 179, 180, 184, 188, 191, 213, 231, 236,
 249, 252, 258, 272, 283, 354~356, 363
 蔵人所雑色
 113, 133, 138, 153, 216, 217, 356, 363
 蔵人所牒 113, 136~141, 144, 147~149,
 152, 154, 159, 161, 178, 184, 356
 蔵人所別当 140

蔵人所客座の喚問 63, 119
 蔵人所召物 138, 147, 184
 薫陸 252

け

桂甲小礼 348
 形体衣裳色絵図 324
 警調兵士 323, 348
 化外人 20, 22, 264
 警固式 325, 336
 警固所
 37, 247, 321, 323~325, 339, 348, 357
 警固専当(勾当) 35, 48, 80, 86
 気比神宮司 349, 358
 見参 229, 230, 242, 358, 359
 遣新羅使 110
 遣唐使 4, 27, 36, 44, 67, 108~110, 113,
 119~121, 126, 132, 167~170, 173,
 206, 227, 348, 351, 355
 元白詩筆 39, 115
 玄蕃寮 344
 権門 4, 8, 12, 191, 261~266, 276, 284,
 293, 294, 299, 308, 309, 328, 330, 336,
 337, 364, 365
 権門体制論 308
 権門貿易 276, 327, 336
 検領 112, 113, 115, 118, 123, 130, 133,
 135, 139, 140, 153, 160, 161, 163, 177,
 178, 187, 217, 228, 231, 238, 240, 249,
 260, 263, 354, 356, 363

こ

後院 288~291, 364
 交易港論 6
 高額貨幣 169, 170
 後宮蔵司 109
 貢金制 117, 173, 176, 180, 190, 355
 皇后宮→藤原定子
 港市国家論(港市論) 6, 14
 綱首 218, 223~225, 234, 240, 261, 262,
 276, 324, 332, 353, 361
 杭州 217, 232, 292, 295, 307

合同文約 145
 公憑 45, 224, 262, 263, 324
 興福寺 283
 公貿易 326, 337
 香木(香) 65, 104, 120, 125, 130, 169,
 252, 275, 357
 合本 224
 貢綿船 35, 38, 76, 86, 203, 348
 香葉 104, 119, 126, 169, 275, 360
 高麗 4, 6, 38, 49, 94, 101, 111, 122, 169,
 181, 189, 227, 284
 高麗国金海府使 122
 高麗国交易使 122
 高麗国南原府使 122
 高麗版一切経 13
 鴻臚館 7, 11, 12, 19, 23, 24, 27, 30, 35, 37,
 39, 40, 78, 86, 105, 106, 111, 112, 114,
 115, 117, 118, 122~124, 129, 130,
 134, 135, 163, 168, 169, 195, 206, 225,
 227, 228, 231, 245, 259, 313, 316, 322,
 325, 343~349, 351, 352, 354, 356,
 360, 361, 363, 364
 鴻臚館跡 7, 134, 231, 345, 348, 355, 360,
 361, 365
 鴻臚館貿易(交易) 23, 123
 鴻臚客館 343
 鴻臚寺 343
 鴻臚所 247, 323~325
 鴻臚中嶋館 347, 360
 鴻臚北館 345, 347
 呉越 111, 271, 323, 343
 沽価 103, 104, 112, 118, 121, 122, 138~
 140, 154, 159, 179, 180, 259, 269, 326,
 337, 352, 355
 国司弾劾・襲撃事件 88~90, 92, 99
 後百済 32, 111, 127
 国風文化 13
 後家
 233, 243, 286, 315, 316, 331, 332, 361
 後三年合戦 180
 金漆 187
 小舎人 123, 130, 135~141, 146~148,

152, 154~157, 159, 163, 178, 213,
 236, 283, 356, 364, 369
 虎皮 104, 125
 御分唐船 133, 309
 コメンダ関係 276
 御霊会 50, 66, 69
 金青 130

さ

犀角 281
 済州島 295
 在唐新羅人 22, 23, 26, 27, 30, 31, 352
 宰府御館 229, 339, 359
 先使 290, 327~329, 331, 338
 砂金→金
 薩摩 186~188, 203, 283, 295, 298
 三韓征伐伝説 94
 山僧 276, 282, 283, 364
 山門→延暦寺

し

志賀島 324, 325, 345, 347
 紫金膏 187
 寺社造営料唐船 277, 286, 336
 紫壇 281
 神人 276, 279, 282, 283, 286, 293, 294,
 310, 337
 市舶司 224, 262, 295
 治部省 107, 344
 私貿易 6, 337
 島津荘 188, 293, 297
 麝香 130, 179
 舍利殿 291~293, 307
 集散地遺跡 7
 住蕃 226, 230, 241, 312, 361
 住蕃貿易 7, 134, 226, 230, 231, 234, 260,
 341, 361
 守客館 348
 主船司 348
 主厨司 347, 348
 首領→渤海首領
 荘園内密貿易(荘園内貿易)

索引

【事項】

あ

阿育王山 288, 289, 291, 292
赤木 189
水豹皮 288
純
50, 52, 57, 64, 65, 103, 119, 167, 169, 170
渥美焼 282
阿弥陀經石碑 303, 330
綾錦 130, 227
在自西ノ後遺跡 301, 333
荒津崎 345
有明海 15, 32, 47, 76, 79, 85, 91, 290, 330
安史の乱 16, 166, 350
安祥寺 77
安息 252
安楽寺 145, 161, 285

い

硫黄 165, 181, 188, 190, 218, 283, 284, 293, 298
硫黄島 283, 293, 298
壹岐 32, 35, 90, 186, 203
泉屋遺跡 281
伊勢 204, 280, 282, 364
糸 167, 169, 184
怡土荘 330
今熊野社 282
夷祿 174
石清水八幡宮 180, 212, 276~279, 284~288, 297~299, 364
院宣 260, 286, 287, 364

院御廐 290, 293
院御廐舍人(寄人) 288, 289, 291, 292, 364
院御廐別当 289~292

う

鬱金 252
宇佐八幡宮 35, 56, 189, 273
廐舍人 282, 288, 290, 291

え

越前 107, 185, 202, 209, 210, 212, 229, 230, 242, 250, 294, 349, 358
沿海制置司(使) 284, 291, 292
延久二年北奥合戦 200
延暦寺(山門) 276~284, 288, 299, 300, 364

お

押圧重孤文軒平瓦 360
押衙 21, 351
黄金の国ジバング 283
王臣家 18, 65, 106, 121, 259, 336, 337, 357
応天門の変(応天門) 34, 46, 53, 76~82, 84, 90, 92~94, 100
鸚鵡 227, 306, 330
大蔵省 64, 65, 72, 103~106, 109, 110, 116, 119~122, 124, 169, 352, 354, 356
大隅 186, 188, 189, 283, 297
大隅国庁焼討ち事件 188, 357
大津館 345
大物遺跡 301
大輪田泊 293, 307
隠岐 32, 89, 90
奥六郡 176, 181, 192, 193, 198
納殿 130

小値賀島 331, 332
小呂島 310
園城寺 283, 292
陰陽寮 34, 47, 86

か

廻易使 19, 42, 55~60, 62, 65, 66
廻却官符(宣旨) 162, 210, 220, 237~239
外交顧問 226
外交代行 254, 270
回賜 108, 113, 160, 242, 260, 356
加賀 106, 107, 349, 358
画工司 104
香椎社 36, 56, 66, 187, 287, 288, 293, 308
香椎B遺跡 287, 301
香椎別所 303
過所 34, 45, 100
柏嶋(神集島) 323~325
牙人 232
堅槽西崎 286
結政 146, 248, 249, 267
価長 72, 103~105, 355
鷲 357
滑石製石鍋 189, 295
兼久式土器 189
金渡 288, 289, 292
花卉文軒丸瓦 360
鎌倉幕府 309
龜門宮 277, 279, 299
龜焼 295
貨物(海商献上品) 113, 119, 136, 141, 144, 145, 149, 152, 160~162, 227, 240, 242, 245, 249, 258, 260, 262, 263, 272, 273, 324, 326, 355, 356
高陽院庁 273
唐硯 187
唐物御覧 113, 129, 144, 356
唐物使 4, 5, 11, 40, 65, 68, 72, 112, 114, 116, 117, 120~123, 130, 133~135, 137~139, 144, 147, 149, 152~156, 158, 160, 162, 163, 167, 177~179, 200, 216, 217, 222, 231, 236, 238, 240,

索引

249, 258, 260, 269, 272, 352, 354~356, 363, 364, 369
唐物頒賜 113, 129, 356
唐籠子 277
可梨勒 187
勘合 145, 183
神崎荘 260, 262, 263, 266, 288~290, 315, 316, 322, 327~330, 338, 364
漢詩 212, 229, 344, 358, 359
官司先買権(先買) 17, 19, 52, 65, 67, 106, 110, 118, 119, 121~124, 126, 259, 261, 263, 264, 294, 326, 337, 352, 355, 364
観世音寺 117, 284~286, 288, 348
官奏 249, 268
莞島 55, 57, 351
寛平の新羅海賊事件 49
官物 11, 89, 113, 123, 128, 136~141, 147, 152, 154~157, 159, 177~186, 189, 204, 213, 231, 272, 283, 290, 329, 356, 357, 363
き
帰化 17, 20, 23, 24, 30, 31, 36, 40, 42, 61, 66, 71, 111, 114, 115, 128, 172, 206, 228, 245, 255, 258, 260, 264, 265, 326, 343, 352
喜界島(貴賀嶋・貴賀嶋) 189, 275, 283, 308, 357
杵嶋荘 15, 330
起請 25, 31, 32, 61, 73, 206, 235
吉祥院 281
契丹→遼
絹 107, 111, 117, 126, 136, 167, 169, 170, 175, 179, 180, 184, 187, 188, 190, 275
客店 232, 233
客館 72, 103, 106, 111, 112, 130, 134, 206, 228, 229, 245, 313, 343, 344, 349, 352, 355, 357
宮市 68, 109, 110
京庫 64
京師交易 123

◎著者略歴◎

渡邊 誠 (わたなべ・まこと)

1977年、岡山県井原市生まれ。
広島大学大学院文学研究科博士課程後期修了。
博士(文学)。
日本学術振興会特別研究員(PD)、広島大学特別研究員を経て、現在 広島県信用組合60年史編纂専門委員・福山大学非常勤講師。

へいあん じ だいはうえきかん り せい ど し けんきゅう
平安時代貿易管理制度史の研究

2012(平成24)年 2月20日発行

定価：本体7,000円(税別)

著 者 渡邊 誠

発行者 田中 大

発行所 株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355

電話 075-751-1781(代表)

印 刷 株式会社 図書印刷 同朋舎
製 本

© M. Watanabe

ISBN978-4-7842-1612-3 _C3021